

新人看護職員の 臨床実践能力の現状と課題

「2002年度新卒看護師の『看護基本技術』に関する実態調査」報告書

北里大学病院
教育看護科長 野地 金子

実態調査の概要

- 全国133施設、許可病床数100床以上の病院
- 新卒看護師2110人
- 新卒看護師の入職時と3ヶ月後の看護基本技術の実態と基礎教育の臨床実習での習得状況に関する実態を把握した
- 看護基本技術は、平成14年3月26日文部科学省「看護学教育の在り方に関する検討会」報告書「大学における看護実践能力の育成の充実に向けて」に提示された基本技術学習13項目に新卒看護師に不足している(コミュニケーション)を加え14項目(103の細項目)の臨床実践能力について回答してもらった。

調査結果

- 〈設置主体〉 ①医療法人 34.6% で最も多い
②学校法人、社会福祉法人など 29.3%
③都道府県など「公的医療機関」 24.8%
- 〈許可病床数〉 平均 345床
- 〈入院患者数〉 平均 287名
- 〈平均在院日数〉 平均 18.7日
- 〈新採用者平均人数〉
看護師 16.5人、保健師 0.3人、助産師 0.6人
- 〈プリセプター制導入〉
「導入している」 93.2%
「導入期間」 平均9.9ヶ月 12ヶ月 68.5%最も多い

〈所属部署と主な診療科〉

- 「病棟」が85%と最も多い
* 外科系31.8%、内科系29.6%、混合病棟15.2%

〈夜勤開始時期〉

- * 5月2週目12%、4月4週目 5月3週目の順

〈現病院での実習経験の有無〉

- * 実習を「しない」 64.1%、「した」 35.6%

〈現病院と卒業した学校との関係〉

- * 「関係はない」 68.2% 最も多い

入職後の『看護基本技術』の教育

- ※ 教育を実施している施設 97.7%

教育内容

《救命救急処置技術》91.5% 《感染予防の技術》77.7%

《安全管理の「技術」》68.5% 《与薬の技術》64.6%

- ※ 入職2ヶ月目には夜勤に入るため、医療現場の安全を確保するためにも重要な技術

- ※ この4技術は新卒看護師70%が「入職3ヵ月後1人でできる」と回答あるが「脈拍の確認」「適切な手洗いの方法」「誤薬防止のために手順を守り与薬できる」「原理原則に基づいた与薬」などの数項目であり、必ずしも十分な技術習得に至っていない。

教育時間 「6～12時間未満」25.4%最も多い

新卒看護師70%以上が「入職時1人でできる」と認識している技術項目

「実施経験70%以上」「入職時1人でできる70%以上」の技術項目は、4項目である。

- 《環境調整技術》 ①基本的なベッドメイキング
②基本的なリネン交換
- 《症状・生体機能管理技術》
③呼吸、脈拍、体温、血圧を正しく測定
④身長・体重を正しく測定

「実施経験70%以上」でも「入職時1人でできるが30%未満」の技術項目は、

《排泄援助技術》①排泄のアセスメントと援助
《安楽確保の技術》①対象に合わせた安楽な体位の保持
《症状・生体機能管理技術》

①観察した症状、アセスメントの記録と報告

患者の様々な情報をアセスメントしてより良い状態に向けて援助を行う項目ができない傾向。

※臨地実習を十分に行っていない入職時に1人でできると回答しているレベルは、項目によって異なる。

「実施経験30%未満」で「入職時1人でできる30%未満」52項目

《排泄援助技術》 ストーマケア、導尿、排便など

《呼吸・循環を整える技術》 気道内吸引など

《与薬の技術》 筋肉注射、皮内注射、点滴介助、管理など

《救命救急処置技術》 気道確保、心マッサージなど

《症状・生体機能管理技術》 心電図モニターの管理など

《感染予防の技術》 洗浄、滅菌、消毒など適切な方法選択

《安全管理の技術》 誤薬防止のために手順を守り与薬できる、医療安全管理体制の理解など

※実習をしていない技術項目は、入職時に1人でできない傾向。

※実習を行った程度と入職時にできるレベルとは関連性がある。

新卒看護師70%以上が「入職3ヵ月後1人でできる」と認識している技術項目は18項目

《活動・休息援助技術》

車椅子での安全な介助・移送

《症状・生体機能管理技術》

呼吸、脈拍、体重、血圧測定値の評価、記録、報告

《清潔・衣生活の援助技術》

清拭、洗髪、寝衣交換など衣生活支援

新卒看護師30～50%が「入職3ヶ月後1人でできる」と認識している看護技術

■ 良肢位の保持

■ 創傷(手術創を含む)処置の介助と観察

■ 導尿

■ 抗生物質の用法と副作用についてのアセスメント

■ インシュリンの種類、用法と副作用についてのアセスメント

■ チームメンバーへの応援要請

■ 救急カートの場所と物品内容の把握 など68項目

■ 実施経験30～50%

「入職3ヵ月後1人でできる」が30%未満の技術項目は20項目

《与薬の技術》

麻薬の主作用、副作用、劇薬、毒薬の取扱い

《救命救急処置技術》

気管内挿管の準備と介助、人工呼吸器の準備

《症状、生体機能管理技術》

24時間持続心電図モニターの管理

プリセプターシップについて

■ 臨地実習で「実施・見学したことがない」が50%以上の場合でも、プリセプターがつくことで「3ヵ月後1人でできる」の伸び幅は大きい。

■ プリセプター制導入は新卒看護師のリアリティショック対策としては有効である。

■ 新卒看護師の実践モデルとしての役割

**基礎教育の臨地実習で未経験な技術項目は
入職後も1人でできない傾向**

- 入職3ヵ月後の新卒看護師の70%以上は、臨地実習が70%以上の技術項目は「1人でできる」と認識している。
⇒ 「車椅子の安全な介助・移送」「呼吸、脈拍、体温、血圧測定値の評価、記録と報告」「適切な手洗いの方法」「対象に合わせた適切な温罨法、冷罨法の実施」など18項目である。
- 臨地実習での経験30%未満の技術項目では、「1人でできる」と認識している新卒看護師は、30%未満である。
⇒ 「麻薬・向精神薬の副作用・副作用の観察、取扱い」「気道確保」「気管内挿管の準備と介助」「心臓マッサージ」など20項目である。

実施経験少なくとも入職後3ヶ月で習得している技術もあり、OJTにより伸びている

《与薬の技術》

- ・ 皮下注射、筋肉注射、静脈注射の準備と介助
- ・ 点滴静脈注射の準備と介助、管理

《症状・生体機能管理技術》

- ・ 血糖測定と検体の取扱い

《安全管理の技術》

- ・ 誤薬防止のために手順を守り与薬できる

新卒看護師の卒後教育上の課題

- ①新卒看護師は、基本となる看護技術を十分習得できない状態で入職する。
- ②臨床現場では新卒看護師に入職後集合教育等を行っているが、現行の教育体制では十分な技術習得につながらっていない。
- ③新卒看護師の育成方法として、特別な支援体制（プリセプター制）を必要としている。
- ④配属部署によって、基本となる看護技術の習得に差がでている。
- ⑤技術習得には基礎教育での実習体験が影響している。技術習得に向けて基礎教育と臨床での教育との連携が必要である。

表 A-7 プリセプター制導入の有無

	サンプル数	導入している	導入していない	無回答不明
* 全体(N)	133	124	8	1
* 全体(%)	100.0	93.2	6.0	0.8
設置主体	国	6	100.0	-
	公的医療機関	33	97.0	3.0
	社会保険関係団体	8	100.0	-
	医療法人	46	82.6	15.2
	その他	39	100.0	-
許可病床数	99床以下	11	100.0	-
	100~199床	33	90.9	9.1
	200~299床	23	91.3	8.7
	300~499床	40	95.0	5.0
	500床以上	25	92.0	4.0

表 A-8 プリセプター制導入期間

(N=124)	N	%
1か月	3	2.4
2か月	3	2.4
3か月	11	8.9
4か月	1	0.8
5か月	-	-
6か月	15	12.1
7か月	-	-
8か月	1	0.8
9か月	3	2.4
10か月	-	-
11か月	-	-
12か月	85	68.5
24か月	1	0.8
無回答・不明	1	0.8
平均	9.9か月	

※プリセプター制を「導入している」と答えた人のみ

表 A-9 新卒看護師の夜勤開始時期

	サンプル数	4月3週め	4月4週め	4月5週め	5月1週め	5月2週め	5月3週め	5月4週め	5月5週め	6月1週め	6月2週め	6月3週め	6月4週め	無回答不明
* 全体(N)	133	6	14	1	9	16	14	4	3	9	10	8	2	37
* 全体(%)	100.0	4.5	10.5	0.8	6.8	12.0	10.5	3.0	2.3	6.8	7.5	6.0	1.5	27.8
設置主体	国	6	-	16.7	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	16.7
	公的医療機関	33	3.0	12.1	3.0	12.1	15.2	9.1	3.0	3.0	9.1	6.1	6.1	3.0
	社会保険関係団体	8	12.5	12.5	-	-	25.0	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-
	医療法人	46	-	4.3	-	4.3	6.5	10.9	4.3	2.2	8.7	6.5	6.5	2.2
	その他	39	10.3	15.4	-	5.1	10.3	10.3	2.6	2.6	5.1	10.3	5.1	-
許可病床数	99床以下	11	-	9.1	-	9.1	-	9.1	-	-	-	18.2	-	54.5
	100~199床	33	-	15.2	-	6.1	12.1	6.1	6.1	3.0	12.1	3.0	15.2	21.2
	200~299床	23	4.3	8.7	-	-	4.3	8.7	-	4.3	8.7	13.0	4.3	43.5
	300~499床	40	10.0	5.0	-	10.0	45.0	12.5	-	2.5	7.5	5.0	2.5	25.0
	500床以上	25	4.0	16.0	4.0	8.0	20.0	16.0	4.0	-	-	8.0	4.0	16.0
プリセプター	導入している	124	4.8	9.7	0.8	7.3	12.9	11.3	3.2	2.4	5.6	6.5	5.6	1.6
	導入していない	8	-	12.5	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	12.5	25.0

表 A-10 新卒看護師の初めての夜勤形態

(N=133)	N	%
プリセプター・先輩看護師によるオリエンテーション	123	92.5
正規の夜勤要員として	4	3.0
その他	5	3.8
無回答・不明	1	0.8

表 A-11 新卒看護師採用者への

『看護基本技術』教育の実施の有無

(N=133)	N	%
行っている	130	97.7
行っていない	2	1.5
無回答・不明	1	0.8

表 A-12 新卒看護師採用者への

『看護基本技術』教育の実施の時期

(N=130)	N	%
採用前	2	1.5
採用後	109	83.8
採用前と採用後	19	14.6

※実施の有無で「行っている」と答えた人のみ